

“子宮温存が叶う” 子宮筋腫の治療法

# 子宮動脈塞栓術 UAE

Uterine Artery Embolization

子宮筋腫の主な症状

30歳以上の20%から30%の女性が悩まれる「**子宮筋腫**」は、子宮の筋肉にできる良性の腫瘍で、一般的に女性ホルモンの影響で筋腫が大きくなることがあり、日常生活に支障をきたしかねない病気です。

佐賀県医療センター好生館では、「妊娠・出産」を希望しない患者さんで、子宮を温存し症状の軽減を図る治療法「子宮動脈塞栓術(UAE)」を提供しています。

腹部の張り

過多月経

頻尿

疼痛

不妊

## 子宮動脈塞栓術(UAE)

足の付け根の動脈からカテーテルを挿入し、筋腫(腫瘍)を栄養している子宮動脈から「塞栓物質」を注入することにより、子宮筋腫を壊死・縮小させ、症状を緩和することを目的とする治療法です。

UAEの適応

妊娠・出産を希望せず子宮を残したい

内科的治療で子宮筋腫の症状改善が困難

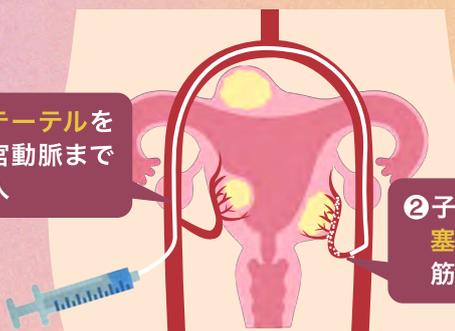
手術を希望しない又は手術困難

閉経前である

子宮がん・骨盤内に炎症などの疾患がない

①カテーテルを子宮動脈まで挿入

②子宮動脈より塞栓物質を流し筋腫を塞栓する



## UAEのメリットと注意点

UAEのメリット

低侵襲治療(数ミリ程度の穿刺)

局所麻酔で施行

入院期間が短い(3~5日間)

子宮温存

筋腫の個数や大きさに寄らない

UAEの注意点

将来妊娠を希望する場合は対象外

筋腫分娩、卵巣機能廃絶などの合併症リスク

症状再発に伴う再治療率14.4%



安座間 真也  
IVRセンター長

日本医学放射線学会認定放射線診断専門医・放射線科専門医・指導医/日本インターベンショナルラジオロジー(IVR)学会専門医・指導医/検診マンモグラフィ読影認定医/日本PTEG研究会認定医/日本腹部放射線学会

子宮筋腫の症状でお困りの女性に、保険診療として、UAEの施行を積極的に実施しています。UAEは「女性なら心当たりのある病気」の症状の軽減に期待でき、QOL(生活の質)の維持・向上に資する治療法です。

地域との医療機関との連携を一層深め、地域に根差したよりよい医療提供を目指す所存ですので、今後ともどうぞ安心して患者さんをご紹介ください。

好生館マスコットキャラクター  
コウたん



YouTube 配信中!



QRコードをスキャン!



問い合わせ先 地域医療連携センター

TEL 0952-28-1495

地方独立行政法人 佐賀県医療センター  
好生館  
SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN